

メ ッ セ ー ジ

二〇二六年度福島県高等学校教職員組合第七十九回定期大会のご盛會を、心よりお慶び申し上げます。

我々が携わる教育とは、十年後、二十年後の日本を大きく変えていく取り組みであります。これからの日本の将来や、今日の前に起きている変化をしっかりと見定めながら、未来の社会を創造していくためには、先生方の熱意を後押ししていく環境を推し進めることが欠かせません。

こうした中、貴定期大会が開催されますことは、さらなる教育改革のために、大変意義深いものと確信しております。

重ねて、実り多い定期大会となりますよう、心からお喜び申し上げますとともに、今後益々のご健勝と貴組合のご隆盛をご祈念申し上げます、メッセージといたします。

徳島県高等学校教職員組合

執行委員長 松下 洋平

祝詞

福島高教組 第七九回定期大会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

われわれは働き方改革や急速に進む教育DX、高等学校改革の推進など、教育活動の根幹にかかわる数々の変革の中、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けて日々の教育活動に精励しています。

多様化する教育ニーズへの対応が求められる今、われわれ現場で働く教職員はよりいっそうの団結を深め、安心して職務に専念できる職場環境作りに向け、学校現場の声を教育行政に反映させていかなければなりません。

貴組合の今後益々のご発展と組合員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

令和八年六月吉日

愛媛県高等学校教職員組合

執行委員長 池内 大輔



福島県高等学校教職員組合 第七十九回定期大会の

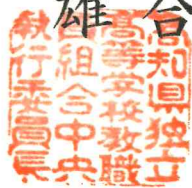
ご盛会をお慶び申し上げます

大きく変わりつつある教育諸情勢の中で、私たちは団結を深め、生活と権利を守り、民主教育を発展させたいかなければなりません。

貴大会が、諸問題の解決、教職員の待遇改善と高校及び特別支援学校教育振興のための新たな出発点となりますようお祈り申し上げます。

令和八年六月

高知県独立高等学校教職員組合
中央執行委員長 金子 正雄



祝 詞

福島県高等学校教職員組合第79回定期大会のご盛会を祝し 貴組合の一層のご発展をお祈り申し上げます

諸情勢の厳しいなか 待遇改善や教育諸条件の整備などに向け 団結の旗の下に力を結集され 多大な成果を上げられますよう心から祈念いたします

2026年6月

島根県高等学校教職員組合

執行委員長 廣瀬



祝詞

第七十九回定期大会のご開催を心よりお慶び申し上げます
日頃より教育の振興と教職員の資質向上のために活動
に取り組みまれている福島県高等学校教職員組合の皆様
に心より敬意を表します
本大会が実りあるものとなりますこと、さらに公教育
の充実振興と教育の正常化のために貴組合の今後益々
のご発展と皆様方のご活躍を祈念いたします

令和八年六月吉日



福岡教育連盟
執行委員長

山内 省



福島県高等学校教職員組合
執行委員長 鈴木 知洋 様



メッセージ

第79回定期大会の開催、おめでとうございます。

1月から、教職調整額の増額や学級担任手当の支給が開始されました。学級担任手当が副担任や特別支援学級担任に支給されないことや、長時間勤務の現状に手当が見合っていないものであることなど、十分な処遇改善と言えない現状です。教職員の業務削減、学習指導要領の内容の是正、教職員の増員をしない限り、わたしたちのは働き方は変わりません。給特法の廃止および抜本の見直しを求めていく運動を、ともに展開していければ幸いです。

原発震災から15年が経過しました。福島第一原子力発電所で増え続けるトリチウムなどの放射性物質を含む「ALPS処理水」の海洋放出が2023年夏から強行されています。漁業関係者などの思いを無視した国策に強い怒りを覚えます。廃炉におけた「燃料デブリ(原子炉事故で溶けた核燃料や構造物が冷えて固まったもの)」の取り出し作業も、遅々として進まない現状です。復興は、まだまだ道半ばです。復興予算も年々、減額されている現状ですが、風化を防ぐために、私たち福島県民が正しい情報を得て外部に発信していくことが必要だと感じます。

福島県教職員組合では、昨年も「教職員の人権」をテーマとし、教研活動を進めてきました。9月には教育研究福島県集会で、「行きたいと思える学校にしよう!そのためには?」というテーマで、対話型講演で学習しました。菊地栄治さん(教育総合研究所所長・早稲田大)から、「公教育のミッションを考えるー『教育の危機』の本質をたどってー」というテーマで講演をいただき、教職の労働環境について改めて考える機会となりました。教職員と子どもがゆとりをもって安心して過ごせる学校になるように労働環境の改善を求めて運動していきたいと思えます。

青年部は、2月に「ICT・生成 AI 活用研修」というテーマでワークショップ形式で講演をいただき学習しました。教材研究や画像生成に使えるソフトを使って、日々の業務に役立つような活用法を学びました。交流会では、アイデアを持ち寄り、仕事に取り入れられそうな工夫について情報交換をしました。日々の実践に役立つ学習ができました。

多忙な職場環境の中、初任者や青年層が横のつながりを築きにくい状況があります。こうした時こそ組合の活動を大切にして広げていき、多くの絆を結び、元気になれるような企画を考えていきたいと思えます。

わたしたちは原発震災により、未来に大きな禍根を残す場に立ち会いました。現在でも被災者の人権が脅かされています。もうこれ以上、負の遺産を子どもたちに渡してはいけません。「教え子を再び戦場に送らない」ためにも、現行憲法を護り、いかす取り組みを共に強化・拡大していきましょう。貴大会が充実した討論の上に確固たる運動方針が確立され、運動のさらなる前進がはかられますよう祈念して、お祝いと連帯の挨拶といたします。



塩ノ崎の大桜(本宮市)